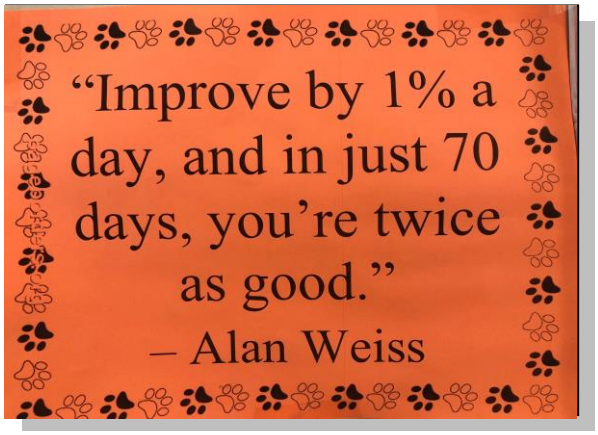
白萩

学校だより「しらはぎ」
１２月号
あきる野市立増戸中学校
編集：副校長　友部　薫

Improve 1% a day, …

校長室前の廊下の掲示板に貼られている言葉を読もうとする声が、校長室内に時々聞こえてきます。



「なんとかなんとか、ワン・パーセント・ア・デイ。最初の単語が読めなぁい。」

この言葉の意味を覚えていてくれていたら、いいのですが。さらに、この言葉通りの２学期を送ってくれていたら、とってもいいのですが。

今学期の始業式は８月２８日でした。そこで紹介したのが、この言葉でした。学校だよりにも掲載しました。

「<improve>は、「よくなる」「伸びる」「進歩する」「上達する」といった意味ですから、これを日本語にすると、

１日に１％ずつよくなっていけば、７０日後には最初より２倍もよくなる

となります」と。

そして、次の様にも。

「２学期は８２日あります。始業式から毎日１％ずつ<improve>していくと、終業式のある８１日後に、元の１０，０００円は、２２，３８９円になっています。一人一人の生徒の、具体的な取組みに生かしてほしい言葉です」と。

長かった今学期。生徒の皆さんそれぞれが持っていた“１０，０００円”は、現在、いくらになっているでしょうか。様々な面で今学期を振り返り、確かめてみてください。必ず。

禍福の転

ある保険会社が募集した、今年の世相を反映した「創作四字熟語」の優秀作品１０選に、「猛夏襲来」（元は史実の「蒙古襲来」）という作品が選ばれたそうです。今年は、気象庁が「災害級の暑さ」と表現したほど過酷な夏でした。

ある公益財団法人は、恒例の「今年の漢字」を発表しました。「災」です。

思い起こせば、猛暑、豪雨、台風、地震等の自然災害に見舞われた年でした。

社会的な話題もそうですが、個人的に失敗や困難、後悔を経験した人は、「災」を実感していることでしょう。しかし、「災い転じて福となす」ということわざがあります。自分の身にふりかかった災難や失敗をうまく利用して、逆に自分の有利になるように工夫し、「災」に打ち克ってほしいと思います。

＊　　＊　　＊

伝統的なお正月の楽しみ方に、かるたがあります。＜アンパンマン＞＜ドラえもん＞＜ポケモン＞が売れ筋のようですが、古くは、＜いろはかるた＞が定番でした。その上方（京都）版の㋐は、「笑う門には福来たる」です。

皆様、今年１年ありがとうございました。笑門来福。よいお年をお迎えください。

（校長　川杉 稔）